

●1分で見える世界景気／2014年9月から見た2014年10～11月の動向

2014.9.18 東新住建(株)住宅市場研究室

※日本は消費税10%の貫徹のために、対外リスク回避と国内景気回復の策を打てるか？

欧州

●EUの景気減速感

「金融緩和」⇒ドイツ国債大人気
ウクライナ問題⇒貿易停滞

●スコットランド独立投票 (9/18)

⇒賛成多数
⇒イギリスから資金流出
⇒EUへの影響大

ゆれるEU

中国

4-6月のGDPは前年同期比7.5%増
・ミニ刺激策が効いたか

シャドーバンキング問題

主要100都市で住宅価格下落

中秋節と国慶節の連休をはさむ9-10月の売れ行きは？

米国

・「金融緩和の10月終了予定」

⇒利上げは2015年第三四半期か？

リスク⇒株急騰&急落、急激な金利上昇、国債急落、株式市場の調整

・8月雇用者数+14.2万人(20万人を下回る)、失業率6.1%

・4-6月のGDPは前期比年率+4.2%

・自動車販売台数8月は前年同月比+21%

・ドル高、ガソリン安い

景気好調で対外姿勢もやや強気か？

新興国等

●世界の輸出入不安定

- ・ウクライナ、イラク→リスク長期化
- ・ブラジル 大統領選(10月)でルセフ大統領苦戦
- ・アルゼンチン 債務問題
- ・インド/モディ首相のしたたか外交
- ・タイ/経済の混乱は回避
- ・インドネシアはジョコ新大統領

●地政学リスクがどこまで影響するか

日本

景気回復基調だが、悪天候が影響

・所得、雇用は底堅く推移

・住宅ローン金利は最低水準

・人手不足、人件費上昇、物価上昇

・「金融緩和継続」

・円安基調、年金資金流入で株上昇か？

・企業は雇用、賃金の充実をはかれるか？政府は消費税増税の判断ができるか？必要な景気対策を打てるか？

リスク⇒株急騰&急落、急激な金利上昇、国債急落、株式市場の調整